

研修番号 <b>40</b>	<b>多職種連携力を高める研修 ～連携の基本を学ぶ～ 開催要項</b>	中堅職員・ 指導的職員
		1日
		集合

**目的**

「地域共生社会」の実現のためには、高齢、障害などの支援や分野の枠を超えて、関係機関との協働とともに、そのサービスの担い手等による多職種の連携が求められています。一方で、実際には情報共有時や支援を行うにあたって、様々な課題や困難さを感じることも少なくないのではないのでしょうか。

本研修では、日々の実践の中で感じる、「連携って具体的に何をするの?」「顔が見える関係」ってどんな関係?」などの多職種連携に関する疑問や悩みを分かち合いながら、押さえておきたい基本的な考え方や視点、必要となる能力や大切なポイント等を理解することを目的とします。

**目標**

- ① 多職種連携の前提となる意味や目的、実践上生じやすい課題等について学び、連携が機能するために求められる役割や視点、能力とは何かを理解する
- ② 事例検討を通じて「多職種連携」の場面でたどるプロセスを体験し、自身の振り返り(リフレクション)により自己理解を深めるとともに、自身の現場での実践に活かすための行動目標を持ち帰る

**日程**

令和7年1月14日(火) 10:20~16:40

**定員**

80名(先着順)

**会場**

兵庫県福祉人材研修センター(神戸市中央区中山手通7-28-33)

**受講対象**

県内の福祉施設・事業所・社会福祉協議会・行政機関に勤務する指導的職員(リーダー、主査、主任等)・中堅職員

**申込締切日**12月16日(月)  
※定員に達し次第、締め切ります。**受講料**5,300円(非課税)  
(受講決定通知時に払込用紙を同封します)**講師**

小坂 素子 氏(神戸女子大学 看護学部 准教授)

## プログラム

	研修科目	内 容
10:20	開講／オリエンテーション	(9:30～受付開始)
10:30 ～ 12:00	【講義・演習】 「お互いの能力を最大限に引き出す 多職種連携」	1 「多職種」や「連携」、「顔のみえる関係」とは何かを理解する 2 連携するために必要な3つの能力を知る
	昼食休憩	
13:00 ～ 16:30	【演習】 「ケースビネットを用いた事例検討 ～それぞれの専門性と役割の 相互理解を深めるために～」	1 ケースビネットを用いた事例検討を通じて多職種連携の実際を体験する 2 連携が機能する際の視点や役割について振り返る（リフレクション） 3 自身の役割を実際の職場に置き換え、実践につなげるための行動を考える
16:30	振り返り／行動目標の設定	
16:40	閉講	

※演習は、種別や職種を混合したグループで行う予定です。

## お申込み方法及び受講決定

- ① お申込みにあたっては、当研修センターが定める「研修実施基本方針」「研修受講ルール」が適用されますので、あらかじめ内容をご確認ください。お申込みが完了した場合は、これらに同意いただいたものとして取り扱います。
- ② 研修センターホームページの当研修申込フォームに必要事項を入力し、お申込みください。  
入力されたメールアドレスに「完了通知メール」が返送されますので、必ずご確認ください。
- ③ 受講の決定は、申込締切日後、申込事業所宛に通知(文書)を郵送してお知らせします。
- ④ 受講料は、決定通知に同封の払込用紙にて、期限までに郵便局でお支払い願います。
- ⑤ お申込み後のキャンセルを希望される場合は、研修企画部までご連絡ください。

## その他

お申込みが完了した場合は、下記に同意いただいたものとして取り扱います。  
演習等への活用及び参加者相互の情報交換、交流を円滑に行うことを目的として、氏名、所属を記載した「受講者名簿」を作成し、当日受講者に配布します。

## お申込み・問合せ先

福祉人材研修センター 研修企画部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 7-28-33  
TEL：078-367-3001／FAX：078-367-4522

### 【「研修実施基本方針」「研修受講ルール」をご確認ください】

兵庫県福祉人材研修センター（以下、研修センター）では、下記のとおり「研修実施基本方針」「研修受講ルール」を定めて運営しています。

ご受講にあたっては、下記の「基本方針・受講ルール」が適用されますので、ご同意のうえ、お申し込みください。詳細は、当研修センターホームページをご確認ください。

それぞれの二次元コードを読み込むと、  
ホームページ内の各ページへアクセスが可能です

#### 【研修実施基本方針】



#### 【研修受講ルール】



※できる限り、本センターホームページから申込みをお願いします。

令和 年 月 日

## 令和6年度多職種連携力を高める研修 受講申込書（FAX 用）

■下記の項目に必要な事項をご記入ください。

（令和6年12月1日現在）

受講者氏名		フリガナ	
法人名			
勤務先名称 （施設・事業所名）			
勤務先住所 （受講決定送付先）	（〒 - ）		
年齢層 （いずれかに○印）	・10歳代 ・20歳代 ・30歳代 ・40歳代 ・50歳代 ・60歳以上		
福祉通算 経験年数	年	役職名	
担当業務		担当業務 経験年数	年
所持資格 （担当業務に関するもの）			
施設種別 （受講者が所属する種別を1つ選択してください）	児童	1 児童養護施設      2 乳児院      3 母子生活支援施設 4 保育所      5 認定こども園      6 障害児施設（入所・通所）	
	障害	7 居宅介護      8 重度訪問介護      9 同行援護      10 行動援護 11 短期入所      12 療養介護      13 生活介護      14 自立訓練 15 就労移行・就労継続      16 共同生活援助      17 施設入所支援 18 相談支援      19 移動支援      20 福祉ホーム      21 地域活動支援センター	
	高齢	22 養護老人ホーム      23 特別養護老人ホーム      24 軽費老人ホーム 25 老人福祉センター      26 デイサービスセンター      27 短期入所 28 在宅介護支援センター      29 老人保健施設 30 介護療養型医療施設・介護医療院      31 有料老人ホーム 32 居宅介護支援      33 認知症対応型共同生活介護 34 地域包括支援センター      35 小規模多機能型居宅介護事業所	
	その他	36 社会福祉協議会      37 救護施設 38 行政      39 その他（      ）	
この研修で 学びたい事項 （箇条書きで3項目程度） 【必須】			
連絡先	フリガナ		
	担当者名	TEL	
		FAX	
E-mail 【必須】			
メールマガジン 登録	連絡先 E-mail を「兵庫県福祉人材研修センターメールマガジン」へ登録を希望される方は、下記にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> メールマガジンへの登録を希望します		
受講後フォロー アンケートの 意向確認【必須】	終了3カ月後をめぐに「受講後フォローアンケート」を上記の E-mail アドレスに送信します （回答時間は5分程度を想定）。回答への協力が難しい方は、下記にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 「受講後フォローアンケート」への回答を辞退します。		
備考欄	上記以外で、研修受講時に配慮等が必要な事項がある場合は、この欄にご記入ください。		

※ 受講申込者1人につき1枚ご記入ください。

FAX 送信先：078-367-4522（兵庫県福祉人材研修センター）

# 申込キャンセル申出書

記入日：令和 年 月 日

兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター 研修企画部 御中

研修受講申込を行った下記の者について、申込をキャンセルしたいので申出します。

申込研修名			
施設・事業所名			
受講者氏名		受講番号	
連絡先 TEL			
キャンセル理由			

※ 「研修受講ルール」に基づき、研修日前日までに必要事項を記入のうえ、当研修センター宛 FAX（もしくはEメール）にてご連絡ください。

※ なお、研修日当日の欠席はキャンセル扱いとはなりません（返金対象となりません）。

（返金口座記入欄） ※受講料未納付の場合、下記の記入は不要です

金融機関名							
支店名							
種別	普通 ・ 当座						
口座名義	フリガナ						
	口座名義人						
口座番号							

※ 振込手数料を差し引いた額を返金します。

※ 口座名義は、払込時の名義をお願いします。

※ ゆうちょ銀行の口座を希望される場合は、通帳見開き下部に記載してある振込用の店名・預金種目・口座番号（7ケタ）を記入してください。

FAX 送信先 : 078-367-4522

Eメール送信先 : [kensyu@hyogo-wel.or.jp](mailto:kensyu@hyogo-wel.or.jp)

※FAX（Eメール）を送信された後、到着確認のお電話をお願いします（電話：078-367-3001）

※申出書の到着確認のお電話をもって、キャンセル受付完了となります。